

# ママのHappyが子どものHappy! ✨

COM+S 第2回報告 開催日：令和5年10月5日(木)

## 暮らしの中で子どもに伝える性教育

昨年度も好評だった本講座です。今年度は、小学2年生以下のお子さん  
がいる女性20名が参加されました。当初は、性の専門家としての資格を  
使う気は無かったと、野上さん。しかし、娘を育てる母になり、講座に  
参加している皆さんと同じように、性に対して「何を」、「どんな風  
に」、「いつ」伝えたらいいか分からなかったそうです。

「私たち、親世代は十分な性教育を受けていない。教わっていないこと  
は人に教えることができない。だったら自分で学ぶしかない。」と、腹  
をくくりました。

性教育を学んだことで育児が楽になり、子どもと接するのが楽になっ  
たそうです。



【講師】

出張専門助産所 nogamidwife  
助産師 野上みきさん



### 講座の一部をご紹介します

#### \* 性の概論について \*

- ・あなたの性教育のイメージは？
- ・性には様々な側面がある
- ・世界と日本の性教育の違い
- ・国際セクシュアリティ教育ガイダンスは下から積み上げていく性教育である

「知識を持つことで、自分の思い描いた人生を送れる。そういう選択肢をつくるのが教育です。その土台には『あなたは大切な存在である』と気持ちを伝えることで、性教育はそこから始まります。」と野上さんは仰っていました。

#### \* 小さな子どもと関わる大人に知って欲しいこと \*

- ① 「からだの権利」と「同意」について
- ② 男女の体の仕組み
- ③ 性器の洗い方・トイレの仕方
- ④ 子どもの気になる行動とその理解
- ⑤ 子どもからのドキッとする質問

どれも大事なことですが、野上さんは①が、とても重要だと仰っていました。同意をとるためには相手の思いを「聞く」ことが大切です。また、⑤は事前にいただいた質問にもあり、関心の大きいところでした。最後に、「性教育は、心が生きる教育であり、人が幸せに生きるために必要な健康と人権の教育である」というお話があり、あっという間に1時間30分の講話が終了しました。



野上さん おすすめの書籍



# グループトークと質問タイム

後半は、5つのグループに分かれてシェアタイムを行いました。事前にいただいた質問に回答する時間も、新しい質問が次々とわき、「時間が足りない」という声が沢山あがっていました。

「全てがハッとすることばかりで目からウロコがポロポロです。」との声もあり、和やかな雰囲気の中、講座は終了しました。



## 参加者の声

- 性教育=性交の教育と思っていましたが、性教育は自分を大切にすること、そして相手も大切にすることにつながるのだと思いました。「からだの権利」ぜひ子どもに伝えたいです。(30代女性)
- 初めて知ることも多かった。どのように伝えたらいいのだろうと想着てるうちに子どもが大きくなっていく。心の準備をしておこうと思いました。(30代女性)
- とてもわかりやすくすぐにやってみよう、子どもと一緒に考えていこう、伝えてみようと思った。親子や夫婦関係を大切にしようと思改めて思った。(30代女性)
- 子どもを守る為、また大事に思っている事と伝える手段として、大人が学んでいく必要があると思えた。(40代女性)
- 自分の受けてきた教育では、性教育はしっかり受けてこなかったので、考える機会になりました。(40代女性)
- 性教育は幸福な人生を送ることにつながっていくことが、よ〜く理解できました。とっても今、私が知りたいことがつまった講演でした。(40代女性)
- 去年参加して沢山の知識をもらいました。忘れていたことも多いと思ったので、また参加しました。また、今日もアップデートして帰れます。(50代女性)